

国内クレジット（CDM）制度 に期待すること

2008年8月26日

株式会社ローソン 篠崎 良夫

3月31日

お客様とともに

CO₂  offset  運動

start!

ローソンは自ら排出しているCO₂を削減します！



私たちローソンは、2012年までに
1店舗あたりの電力使用によるCO₂排出量を
2006年度比10%削減します！
未達成の場合は排出権を活用して削減します

これは

総排出量で2006年度比**6万トン**の削減

⇒ 2012年度で、原単位あたり1990年度比**30%**の削減となります

参考) CVS業界の自主行動計画：1990年対比**23%**削減（08～12年平均）

① ポイント交換



1口 = 50ポイント
= 10kg-CO₂オフセット

- ⇒累計10口=CO₂: 100kgごとに
オリジナル「CO₂オフセット証明」画像を
 メールで送信 (PC/携帯電話)
 ⇒さらに、累計50口=CO₂: 500kgで
「オフセット証明書」と「ケータイバッグ」

② Loppiでのお申込み

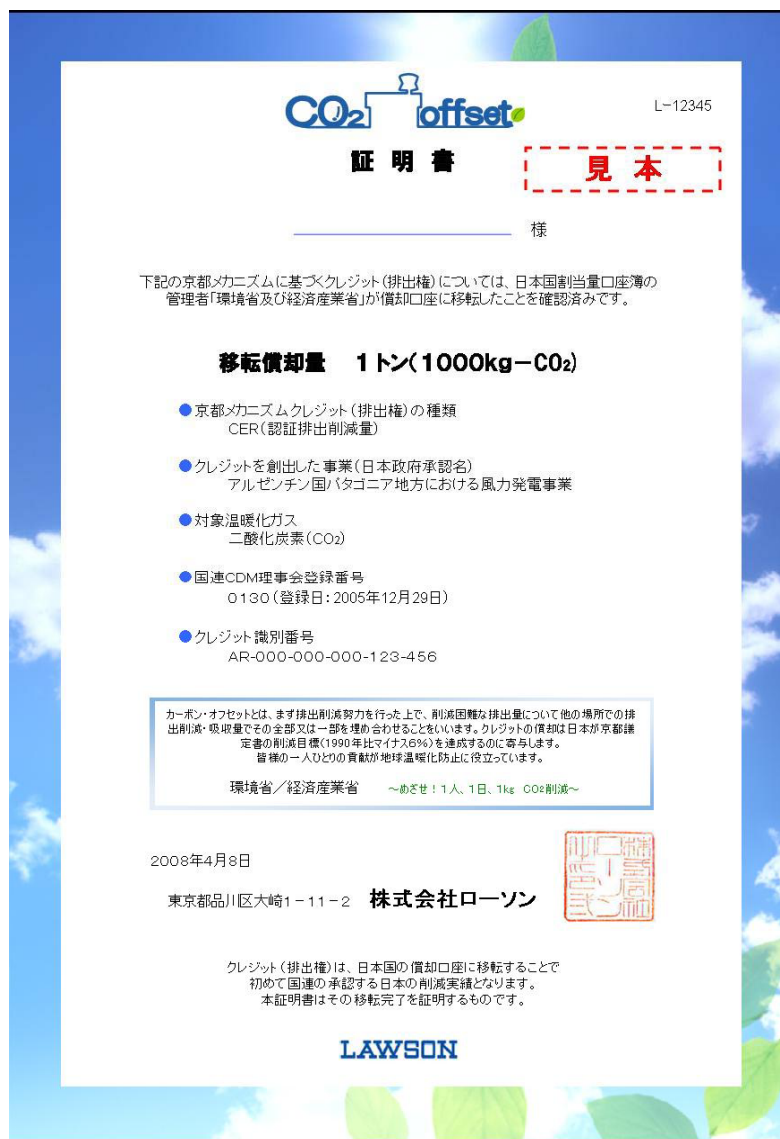


補完として現金でのカーボンオフセット3コースも用意

- | | | |
|--------|----------|---------------|
| ◆200kg | ・・・1050円 | 証明書付き |
| ◆500kg | ・・・2500円 | 証明書・ケータイバッグ付き |
| ◆1トン | ・・・4500円 | 証明書・ケータイバッグ付き |



CO₂オフセット証明書(政府口座への移転償却証明)



移転償却量 1トン(1000kg-CO₂)

- 京都メカニズムクレジット(排出権)の種類 CER(認証排出削減量)
- クレジットを創出した事業(日本政府承認名) アルゼンチン国パタゴニア地方における風力発電事業
- 対象温暖化ガス 二酸化炭素(CO₂)
- 国連CDM理事会登録番号 0130(登録日:2005年12月29日)
- クレジット識別番号 AR-000-000-000-216-488

**CO₂オフセット
の信頼性!**

カーボン・オフセットとは、まず排出削減努力を行った上で、削減困難な排出量について他の場所での排出削減・吸収量でその全部又は一部を埋め合わせることをいいます。クレジットの償却は日本が京都議定書の削減目標(1990年比マイナス6%)を達成するのに寄与します。皆様の一人ひとりの貢献が地球温暖化防止に役立っています。

環境省・経済産業省ホームページより ~めざせ! 1人、1日、1kg CO₂削減~



3月31日

甘利経済産業大臣(当時)ご購入

ホームページに「国民運動に！」のコメントを
いただきました



4月3日

鴨下環境大臣(当時)ご購入

店舗にもご来店いただき、弊社の省エネ
対策をご確認いただきました。

実績

2008年4~7月累計

【単位：トン】

ポイント交換・Loppi申し込み	693
排出権付商品（飲料）	2,241
排出権付商品（日用品）	108
その他協賛等	116
合計	3,158



※排出権付商品のオフセット費用は商品価格には含まれていません

○現在使用しているクレジット（CER）



アルゼンチン・パタゴニア地方における
風力発電事業のクレジット

お客様の声

なぜ外国のクレジットを使用するのですか？
日本のCO₂削減にならないのですか？

国内クレジット制度！

◎お客様がクレジットを選ぶ時代へ・・・

そのためには

- ・日本のCO₂削減に貢献すること
- ・それをお客様に具体的に説明できること

制度として

- ・クレジットは省エネ法・温対法で有効と認められること
- ・無効化の処理結果が外部に公開されること

が最低必要条件！